

(別紙)

評価細目の第三者評価結果（保育所）

※すべての評価細目（48項目）について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
I-1-(1)-①	理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	○a b・c
〈コメント〉 理念や基本方針は明文化されており、職員への行動規範となるよう職員室やクラスに掲示しているほか、入園説明会で利用者に周知する等、幅広く情報発信しています。		

I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
I-2-(1)-①	事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	○a b・c
〈コメント〉 当保育園を運営する法人本部では、5年を単位とする「いなべ市地域福祉活動計画」を策定しており、市内の子どもと家庭を取り巻く環境の現状や課題、保育サービス等の実施状況を把握・分析しています。		
I-2-(1)-②	経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	○a b・c
〈コメント〉 「いなべ市地域福祉活動計画」の策定にあたっては、市民ニーズ調査を実施する等、福祉サービスに対するニーズや課題を明らかにし、計画に反映しています。		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
I-3-(1)-①	中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a ○b c
〈コメント〉 当保育園を運営する法人本部が主導して、5年を単位とする計画を策定しており、地域福祉推進の目標や取組の方向、内容、視点等を明らかにしています。今後は、計画の実現を見据えた中・長期的な収支計画の策定を行うことを検討してください。		
I-3-(1)-②	中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	○a b・c
〈コメント〉 中・長期計画を踏まえて、園独自で単年度の事業計画が策定されています。園における単年度の収支計画は、資金収支予算書を法人本部に申請することで、法人本部と連携し策定しています。		

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a ● b ● c
<コメント> 単年度の事業計画の実施状況について、把握して見直しを行っていますが、見直しをする際にすべての職員が意見を出し、より身近なものとして理解できる仕組み作りが望まれます。		
	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a ● b ● c
<コメント> 法人のホームページに事業計画が掲載されています。今後は、園だよりや社協だより等を用いて保護者等に情報発信されることが期待されます。		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	● a ● b ● c
<コメント> 保育園の各種取組については、月案会議、園内会議等で内容の検討・評価を行いパート会議においても共有されています。保育内容について定期的に評価・見直しを行う体制が整備されています。		
	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a ● b ● c
<コメント> 自己評価や園内会議等を通じて明らかになった課題の改善に取り組んでいます。今後は改善に向けた内容を文書化し、全職員で共有のつえ改善を進めることで、更なる質の向上につなげてください。		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	● a ● b ● c
<コメント> 園長は、年度始めの園内会議において、自らの役割と責任、保育方針について説明しています。また、日常的に職員一人ひとりとコミュニケーションをとり、保育に対する考え方等を伝えています。		
	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	● a ● b ● c
<コメント> 園長は、市役所や法人本部との情報共有や園長会を通じ、遵守すべき法令等の把握に努めています。また、その内容を朝礼や資料回覧により全職員に周知しています。		
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
	Ⅱ-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	● a ● b ● c
<コメント> 園長は、職員一人ひとりと積極的にコミュニケーションをとっています。また、職員アンケートにおいても、園長から適宜アドバイスを受けているとの意見が多数みられました。		

II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a・b・c
<コメント> 理念、基本方針の実現に向け、園内研修に外部講師を招聘する等、職員に対し幅広い知識を習得する機会を提供し、職員のレベルアップによる実効性向上が図られています。	

II-2 福祉人材の確保・育成

	第三者評価結果
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	
II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a・b・c
<コメント> 採用や人事管理については、法人本部で一括して所管しており、関係各課と連携しながら、必要な人材・人員体制を整えています。業務量に対し人員が不足していると感じる職員も見られ、適正な人員配置に向けた実態把握が必要です。	
II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a・b・c
<コメント> 職員として必要とされる知識や能力の向上を目的とした研修体制は整備が進められています。人事考課に関しては、勤続年数や職務内容に沿った客観的な考課基準を示し、職員の意欲を引き出す仕組みづくりが望まれます。	
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	
II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a・b・c
<コメント> 毎月の安全推進委員会の開催や有給休暇の取得推進等、働きやすい職場づくりに取り組んでいます。一方で、業務量に対し人員が不足していると感じている職員が見られ実態把握が必要です。	
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	
II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a・b・c
<コメント> 「業務管理シート」を用いて園長と職員が定期的に面談を行っています。また、園長は、職員に対し各種研修への積極的な参加を促しており、職員のキャリアアップが図られています。	
II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a・b・c
<コメント> 園長会により決定された年間の研修スケジュールが作成されており、職員として必要とされる知識や能力の向上を目的とした研修を実施しています。	
II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a・b・c
<コメント> 職員一人ひとりの役割や立場に合わせた研修の機会が確保されています。また、研修資料を職員間で共有する等、園全体で知識の向上に向けた取組が実施されています。	
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	
II-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a・b・c
<コメント> 実習生を受入れる際には、本人に対してオリエンテーションを行い基本的事項を伝えていますが、文書化されたマニュアルや定型のプログラムを作成する等、よりいっそうの受入れ体制を整備する必要があります。	

II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
II-3-(1)-①	運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	Ⓐ b・c
<コメント> 保育園の事業や財務等に関する情報については、法人本部の所管で適切に公開されています。また、園のホームページを定期的に更新し、最新の情報を公開するよう心掛けています。		
II-3-(1)-②	公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	Ⓐ b・c
<コメント> 保育園における事務、経理、取引等に関する職務分掌と権限が明確にされており、定期的な監査が行われています。		

II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との交流が適切に確保されている。		
II-4-(1)-①	子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	Ⓐ b・c
<コメント> 外部環境を要因に活動が制限されるなか、藤棚見学を行う等、地域住民の協力を得ながら可能な範囲で地域の方々との交流に取り組んでいます。		
II-4-(1)-②	ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a Ⓑ c
<コメント> 地元中学生の職場体験等ボランティアの受入れを行っています。受入れの際には、施設内での注意事項等を参加者、職員に周知していますが、文書化されたマニュアルや定型のプログラムを作成する等、よりいっそうの受入れ体制を整備する必要があります。		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
II-4-(2)-①	保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	Ⓐ b・c
<コメント> 家庭児童相談室、いなべ市の保育課・発達支援課・健康推進課・社会福祉課等の各種相談・連携窓口を全職員に周知しています。		
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
II-4-(3)-①	地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	Ⓐ b・c
<コメント> 未就園児を対象とした園庭解放等の活動時に、参加者に対してアンケートを実施する等、地域の福祉ニーズ等を把握する取組を行っています。		
II-4-(3)-②	地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	Ⓐ b・c
<コメント> 各地域に設置された子育て支援センターの運営を通じて家庭に対する支援を行っているほか、園庭解放等の活動が行われています。		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
Ⅲ-1-(1)-①	子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	(a) b・c
<コメント> 「いなべ市保育重点目標」に基づき、一人ひとりの子どもを大切にした保育を行っています。また、園内研修に人権学習を取り入れ、実施しています。		
Ⅲ-1-(1)-②	子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	(a) b・c
<コメント> 子どものプライバシー保護・虐待防止等の権利擁護については、園内会議等で周知・徹底が図られています。		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
Ⅲ-1-(2)-①	利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	(a) b・c
<コメント> 施設の見学希望や個別相談に積極的に対応しています。定期的にホームページを更新することにより、最新の保育内容等を発信しています。		
Ⅲ-1-(2)-②	保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	(a) b・c
<コメント> 入園の際は「入園のしおり」を用いて、保護者が理解しやすいよう写真を多く用いる等、工夫して説明を行っています。また、保育内容の変更にあたりは、お便りやアプリ配信などで周知しています。		
Ⅲ-1-(2)-③	保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	(a) b・c
<コメント> 市内での保育所等の変更にあたりは、児童票を用いて適切に引継ぎが行われています。また、その他変更に際しても施設長が連携し、継続性に配慮しています。		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		
Ⅲ-1-(3)-①	利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	(a) b・c
<コメント> 送迎時のコミュニケーションの中で利用者満足の把握に努めています。また、利用者満足の向上に向け、保護者を対象に異年齢保育に関するアンケートを実施しています。		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
Ⅲ-1-(4)-①	苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	(a) b・c
<コメント> 苦情解決の体制が整備されており、園長、主任を中心に適切な対応ができるよう職員間で周知されています。		
Ⅲ-1-(4)-②	保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	(a) b・c
<コメント> 個別面談を年2回開催する等、保護者が相談や意見を述べやすい環境整備に努めています。今年度実施した異年齢保育に関するアンケートを含め、引き続き幅広く意見を吸収できる体制を整備しています。		

Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	○a・b・c
<p><コメント> 保護者からの相談や意見、提案に対しては、記録を残したうえで園長を中心とした関係職員全体で対応方針や改善策を話し合い、朝礼で共有する等迅速に対応しています。</p>	
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	
Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	○a・b・c
<p><コメント> 不審者やアレルギーに対するマニュアルを作成し共有する等、危険防止に向けた取組が十分に行われています。また、定期的に関催される安全推進委員会にて些細なヒヤリハットまで職員間で共有する等、安全対策に取り組んでいます。</p>	
Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	○a・b・c
<p><コメント> 感染症予防や発生時におけるマニュアルを策定しています。感染症が発生した場合はアプリ等を活用し、保護者への情報提供を行っています。</p>	
Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	○a・b・c
<p><コメント> 毎月の避難訓練や防犯訓練、年2回の引渡し訓練を積極的に行っています。</p>	

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

	第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。	
Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	○a・b・c
<p><コメント> 職員の年齢や経験年数の違い等による保育水準・内容に差異がないよう、法人本部作成の保育カリキュラムにて保育環境の設定、心構え等が文書化され、保育サービスが提供されています。</p>	
Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	○a・b・c
<p><コメント> 標準的な実施方法については、いなべ市内の各園の意見を集約・反映したうえで、毎年見直しを行い、保育カリキュラムに反映しています。</p>	
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。	
Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に作成している。	○a・b・c
<p><コメント> 保育の実態についてアセスメントを行い、子どもの発達や状況を踏まえて指導計画を策定しています。</p>	
Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a○b・c
<p><コメント> 指導計画は、園内会議等で定期的な評価・見直しを行っています。評価・見直しの際には課題や改善策を明確にし、次の指導計画の作成につなげてください。</p>	

Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
Ⅲ-2-(3)-①	子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a ● b ● c
<p><コメント> 子どもに関する保育の実施状況は、申し送りの伝え漏れがないよう工夫されています。今後は、必要な情報をパート職員含めた関係者全員が漏れなく共有できるよう、連絡方法の更なる工夫が期待されます。</p>		
Ⅲ-2-(3)-②	子どもに関する記録の管理体制が確立している。	○ a ● b ● c
<p><コメント> 記録の管理方法については、職員に周知・徹底されています。また、個人情報を含む記録については、施錠式の書庫で保管されています。</p>		

評価対象Ⅳ 三重県独自基準

Ⅳ-1 地域項目

		第三者評価結果
Ⅳ-1 地域に開かれた施設運営が適切に行われている。		
Ⅳ-1-①	子育て経験者との連携がとれている。	a ● b ● c
<p><コメント> 以前は、風作りやすごろく遊び等を通じて子育て経験者との連携がとれていましたが、近年は、外的要因により子育て経験者との連携がなされていない状況です。今後、子育て経験者との連携の機会を確保されることが期待されます。</p>		
Ⅳ-1-②	子どもの安全確保について地域との相互協力体制の構築を行っている。	○ a ● b ● c
<p><コメント> 避難訓練の際に隣接施設の駐車場を使用する等、子どもの安全確保について地域との相互協力体制の構築を行っています。</p>		
Ⅳ-1-③	地域の環境保護に貢献している。	a ● b ● c
<p><コメント> 野外活動の川遊びに出かけた際に清掃活動を行っています。今後は、更に環境保護に貢献する活動の機会を増やされることが期待されます。</p>		